

煌け! 登美北

平成27年12月16日(水)

奈良市立登美ヶ丘北中学校

生徒指導だより

文責：三間瀬 充宏

諦めないうちは失敗ではない「中央タクシー」社長 宇都宮恒久

12月になって「宇宙」に関わるニュースが3つありました。

1つ目は小惑星探査機「はやぶさ2」です。2014年12月3日に、鹿児島県の種子島宇宙センターから打ち上げられ、1年を経て地球の近くに戻ってきて、地球の引力を利用して軌道とスピードを変える「スイングバイ」によって、目的地の小惑星「リュウグウ(竜宮)」へ向かいました。初代の「はやぶさ」(2003年5月9日打ち上げ)は多くの困難を乗り越えて「イトカワ」から地球に帰還(2010年6月13日)したことはみなさんも知っていますね。2つ目は金星探査機「あかつき」です。2010年5月21日に打ち上げられ、最初は2010年12月7日に金星の周回軌道に入る予定でしたが、軌道投入に失敗し、金星に近い軌道で太陽を周回していました。それが、最後のチャンスである2015年12月7日に金星の周回軌道への再投入が行われ、12月9日に成功が確認されました。「姿勢制御用エンジンを約20分間噴射することができるのか」、「地球の3倍近い熱にさらされた機器へのダメージ」などが心配されていましたが、日本の探査機として地球以外の惑星を回る軌道に初めて入りました。3つ目は国際宇宙ステーション(ISS)に滞在していた宇宙飛行士の油井 亀美也(ゆい きみや)さんが、7月の出発以来5カ月ぶりに11日午後10時ごろ地球に帰還しました。どれも素晴らしいと偉業であると同時に、「科学技術」の進歩に驚いた人や「宇宙」に興味を抱いた人も多かったのではないのでしょうか



テレビでは「下町ロケット(池井戸潤著)」が放映されていて、エンジン部品の製造販売を手がける従業員200人の中小企業を舞台に、技術と品質で大企業に挑む社員の姿を通して、ものづくりの素晴らしさを感じて、見ている人も多いのではと思います。1部では、過去に自分が開発したエンジンを載せたロケットの打ち上げに失敗してしまったことが忘れられず、もう一度自分が関わって「ロケットを打ち上げたい」という思いを持って行動する佃渉平を中心として描かれていました。「過去の失敗を取り戻したい」という思いは誰もが持ちます。ロケットの打ち上げを始めとする宇宙関連の事業には長い年月と周到な準備を必要とするだけにその思いははるかに大きいものとなります。

2015年も残り少なくなりましたが、今年、うまくいったこともあれば、そうでなかったこともあるでしょう。しかし、スーパー講演会で来られた平野 佳寿(ひらの よしひさ)選手がこんなことを言っておられたのを覚えていますか、「今がダメだから、先もダメだということはない」。失敗も「諦めないうちは失敗ではない」という気持ちを持って、新しい年2016年も頑張っていきましょう。自分の可能性を信じて!

役割を果たす(あなたにできること)

みなさんは自分の学級でどんな役割をもっていますか?あなたの役割は何でしたか?「委員」「係」「日直」等、学級にはさまざまな仕事が割り振られています。しかし、自分の役割だけを果たしていれば良いのでしょうか?2年生のみなさんが行った職場体験のある事業所で、「与えられた仕事+1をしよう」と教えてくださったところがありました。与えられた役割を果たすだけでなく、あなたの周りであなたの力を求めている人気づくことが大事です。年末は自分の力を惜しまずに発揮するチャンスが数多くあります。チャンスを見逃さず、積極的にチャレンジしましょう。